

せきね 知っ得! 通信

5

May

2019



社会保険労務士法人せきね事務所 せきね FP 事務所
〒947-0028 小千谷市城内 2-4-26 TEL.0258-83-3048 FAX0258-83-3049
メール sekinekyrs@mountain.ocn.ne.jp ホームページ http://www.office-sekine.com

第104号 発行：2019年5月

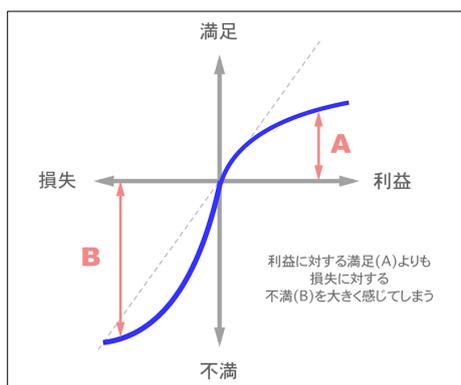
勧められて読んだ「行動経済学」の本がとても面白かったのでご紹介します。

行動経済学とは？

伝統的な経済学が「人は常に合理的に判断する」と仮定してきたのに対して、比較的新しい学問である行動経済学は「人は心理や感情に流されて不合理な行動もする」という立場を取っています。

最近、心理学の理論を応用する行動経済学がビジネスの世界で注目されるようになってきました。

私たちは損が大嫌い



プロスペクト理論によると、私たちは、なるべく早く利益を確実にしたい一方で、損失は先送りしたい傾向があります。

また、図のような価値関数が存在していて、1万円を儲けた喜びに比べ、1万円を失った悲しみの方が3~4倍大きいと言われています。

株式投資の基本は、利益を伸ばして損切りを素早く行う「損小利大」ですが、多くの投資家はすぐに利益確定を行い、一方で損切りができずに放置する「利小損大」の投資行動を取ってしまいがちなのです。



初頭効果

初めに伝えられた情報は、判断や意思決定により大きな影響を与えます。テストの結果の場合「国語が55点、でも算数は80点」と言うより、「算数80点取ったよ。でも国語は55点」と伝える方が親から怒られません。業績報告も「利益率が下がっています。でも売り上げは伸びています」ではなく、「売り上げが伸びています。でも利益率は下がっています」の方が印象がいいわけです。初頭効果からすると「第一印象が大事」ということもうなずけますね。

なぜ企業の不祥事はなくならない？

集団の一員になった際、1人ではしないであろう間違った判断に流されてしまうことがあります。集団の中で孤立することは、心理的なストレスとなるため、同調する傾向があるからです。「長いものには巻かれろ」で、上司や影響力の強い人に異議を唱えるのは難しい。結果、「集団思考の罠」にハマり、組織として適切な判断が下されず、ミスや問題・不祥事につながります。対策としては、異論や疑念の表明を推奨する。組織外の専門家の意見を聞く。批判的に検証する。などが挙げられます。

身近な事例でわかりやすく説明していて、紹介ネタに迷いました。参考になれば幸いです！

最新情報

求人時に「受動喫煙防止策」の明示義務



厚生労働省は、企業に対して、どのような受動喫煙対策を講じているかについて、募集や求人申込みの際に明示する義務を課すこととしました。

禁煙場所が「敷地内」なのか「屋内」なのかどうかや、喫煙室の有無などについて明記することを想定しているとのこと。

昨年成立した改正健康増進法が全面施行される **2020年4月から**適用されます。求人時には賃金や労働時間などの労働条件のほかに、**受動喫煙対策も明示**しなければならないことになります。



JTの調査によると、全年齢層において喫煙率は減少傾向にあり、男性の平均で3割以下、女性では8.7%にまで低下しています。

タバコが要因となった訴訟も度々起きており、スメハラ・スモハラ等のハラスメントに敏感な社会の風潮もあります。

就業時間中に喫煙のために離席した時間分の賃金を控除するというような思い切った会社もあるようですが、現実的には、職場の禁煙化・受動喫煙対策は徐々に進めることになるでしょう。



飲食店でも、禁煙化したことによる売上への影響は「**特に変化がなかった**」が60%以上、「**売上増**」が12%との調査結果がありますから、職場の全面禁煙化などを行うための社会的環境は整ったといえるでしょう。

最新情報

年金事務所への届出における添付書類、署名・押印の取扱い変更

以下のとおり、変更となりました。

届出名称		添付が必要だったケース
健康保険・厚生年金保険被保険者	資格取得届	届出書の受付年月日から60日以上遡る場合
	資格喪失届	
	報酬月額変更届	5等級以上引き下がる場合

添付書類

賃金台帳の写し及び出勤簿の写し

不要

健康保険被扶養者（異動）届・国民年金第3号被保険者関係届

事業主が被保険者の届出意思を確認、備考欄に「**届出意思確認済み**」と記載

署名・押印

省略

就活生の「ブラック企業」「ホワイト企業」への意識調査

人手不足による売り手市場が続くなか、各企業はあの手この手を使った「人材確保」対策に苦心しています。

今年入社を迎えた卒業生（2019年卒、以下「19年卒」と）、就職活動を始めただけの学生（2020年卒、以下「20年卒」）それぞれに、「ブラック企業」と「ホワイト企業」についての意識調査を行った結果です。



- ★ 「ブラック企業を気にした（している）」19年卒 85.6%、20年卒 91.1%と9割近い。「ホワイト企業を気にした（している）」それぞれ半数程度。
- ★ 就職活動で「ブラック企業かどうか」を調べた19年卒 82.1%、20年卒 79.7%
「ホワイト企業かどうか」を調べた19年卒 56.0%、20年卒 61.3%

「ブラック企業」だと思う条件

- 1位 「残業代が支払われない」
- 2位 「給与が低すぎる」
- 3位 「労働条件が過酷である」
「残業が多い」
「セクハラ、パワハラがある」
「有給休暇を取りづらい風土がある」

「ホワイト企業」だと思う条件

- 1位 「有給休暇を取りやすい風土がある」
- 2位 「福利厚生が充実している」
- 3位 「離職率が低い」
「残業が少ない」
「残業代が満額支払われる」

- ★ 調べ方では「クチコミサイト」約9割
「就職情報サイトで企業情報（募集要項等）を確認」が約5割

- ★ また、入社後に「ブラック企業」だとわかった場合
「すぐに辞める」はそれぞれ1割程度
「1年は様子を見る」はそれぞれ4人に1人
「半年以内に見切りをつける」はそれぞれ過半数に達しています。



- ★ 一方で、ブラック企業でも働き続けられる条件として、「給与・報酬が高いなら」がそれぞれ約7割、「職場の人間関係が良いなら」がそれぞれ約6割を占めています。



以上のことから、最近の就活生の企業選びのポイントは、「ブラック企業」を強く意識し、「働きやすさ」を求める傾向にあることがわかります。

「気になる！」を勝手に情報発信コーナー

書籍 **そして、バトンは渡された** 瀬尾 まいこ

本屋大賞に選ばれた作品。

主人公の優子は、早くに母を亡くし、父は海外赴任に旅立った。継母と暮らすが、事情でその後も親が次々に変わっていく。血の繋がりのない親子の切なく辛い生活…というお話ではありません。

優子は、いつも愛されて育ち、バトンが渡されていく。淡々と進むストーリーを読み進めるほどに心が温まっていきます。特に、東大卒のエリートの父との食生活やトボけた会話がたまらなく楽しい。

「親になるって未来が2倍以上になることだよ」という言葉が沁み渡り、ラストシーンは涙が溢れました。

虐待などに関する悲しいニュースが多い昨今、レアなケースの家族の本ですが、優しさに包まれる感じがウケるがわかる気がします。



登山 **角田山 (481.7m) 桜尾根コース～灯台コース** 4/29

シーズン初めはやはり、角田山です。登りやすく、景色も良く、頂上でゆっくり休むことができます。オオミスミソウ（雪割草）やカタクリの花はすでに終わっていましたが、桜が見頃でした。飯豊連峰や越後平野が一望でき、鳥海山もうっすら見えました。お昼は暖かいスープとおにぎり🍙、食後はコーヒー☕️。頂上で飲むコーヒーは格別！！贅沢な時間を過ごしました。



今月のさぶろく **せきね事務所の看板ねこ (2歳8ヵ月)**

暖かな日が増えてきて、さぶろくも窓辺で日向ぼっこしていました。

体の幅に比べて、寝ている場所が狭いのでうたた寝したら落ちこちてしまいそう…。心配をよそに不安定な場所で気持ちよさそうにしてみました。

